

八学短大で現代美術ワークショップ

人生1本の線で表現

八戸学院大短期大学に招いた現代美術アーティストの山元勝仁さん(群馬県在住)を講師



壁面に描いた線を指さすワークショップの学生と山元勝仁さん(右から4人目)

アーティスト山元さん(群馬在住)講師

に例えると、どのような線が描かれるかというテーマ。参加した同学生徒10人が、壁面にさまざまな線を引

き、人生へのイメージを膨らませた。

棟内にある格子状の多目的展示スペース「ホールギャラリー」の壁面を、キャンバスとして使用。学生はペンを組み、線を描く主人公役と、「人生の試練役」として主人公の行く手を阻む役に分かれた。

主人公役がペイントインクローラーなどを使い、ギャラリーを一周して描き進めようとする。試練役の学生は体を張って阻止。ラグビーのような激しい応酬となった。壁面には、さまざまな太さの

線や上下の起伏に富んだ線が描かれた。

ワークショップを終え、山元さんは「予想以上の盛り上がりで、

出来上がった線も興味深いものばかりだった。

一生懸命描いた線を、後で一歩下がって

見る経験は、今後役立つと思う」と総括した。

卒業後は八戸市内の幼稚園に就職する予定

という2年の佐々木朋香さん(20)は「格好良い線が描けた。新鮮な体験で、子どもたちにも経験させたい」と話した。

ホールギャラリーでは2月21日まで、山元さんの個展を開催している。

時間は午前10時〜午後5時。入場無料。土、日曜と祝日は事前申し込みが必要。

申し込み、問い合わせは、同学部池田拓馬講師 電話0178(25)441111へ。

(田村純也)